

海の仕事を知らう！



12月1日(土)、北海道運輸局旭川運輸支局では、海上輸送やフェリーの役割、船員の仕事などを知ってもらいたい、と稚内フェリーターミナルを会場に、宗谷中学校生徒24名を対象にしたフェリー見学と海事講座を開催しました。

普段は入ることができないフェリーの操舵室や機関室などで船のしくみについて説明を受けた生徒たちからは「広くて

船とは思えない。ホテルみたい！」という感想や「大きな船なので設備がしっかりしている」「機械が多く操縦が大変そう」など漁船が身近にある環境で育ってきた宗谷中生徒ならではの声も聞かれました。また、海事講座では、海の仕事の役割や船員の一日の仕事についてわかりやすく説明を受け、地域産業についての理解を深めていました。

ズームアップ

白川博士の実験教室



11月18日(日)、青少年科学館を会場に全国科学館連携協議会の全国展開事業「導電性プラスチックを作ろう！二次電池への応用」が開催されました。2000年にノーベル化学賞を受賞した白川英樹博士が講師となるこの講座には小中高生20名が参加。電気を通すプラスチックとは何かを熱心に学び、二次電池を作る実験に挑戦していました。

師走恒例！楽しいステージ



師走の恒例イベントとなった「稚内市名士カラオケ歌謡祭」が12月2日(日)総合文化センターで開催されました。今年は23団体が出演し、それぞれに工夫を凝らした歌や踊りの楽しいステージを繰り広げ、会場を湧かせていました。

新年を迎える準備は万端！



12月9日(日)、宗谷ふれあい公園で「しめ飾り作り教室」が開催されました。親子など13名が参加したこの教室は、スゲを編むところから学べる毎年大人気の本格派講座。参加者は扱い慣れない道具や材料などで苦戦する場面もありましたが、1時間ほどで立派な玄関飾りを完成させていました。

開業して、約1年が経過しましたが、稚内の印象について教えてください

耳鼻咽喉科にかかる諸症状を教えてください

昨年10月に、市内では7年ぶりとなる耳鼻咽喉科を開設し、毎日たくさんのお客さんと優しく向き合う上田院長に、稚内での生活や医療への考えをお聞きしました。(11月中旬)

診療を行う上で、心がけていることを教えてください

最後に、市民の皆さんへ一言お願いします



わっかない耳鼻咽喉科
 (栄5-8-10 ☎0113-0881)
 上田 征吾先生
 出身地／札幌市
 趣味／旅行・音楽鑑賞
 好きな食べ物／魚、肉全般

お休みの日は、どう過ごしていますか？

オンラインでの受付方法などについて教えてください

稚内市内には、身近なかかりつけ医として地域医療を支えているお医者さんがいます。今回は、「わっかない耳鼻咽喉科」上田征吾院長にお話を伺いました。

地域で支えよう！ 「最北の医療」



耳では、聞こえにくさや耳鳴り、めまい、かゆみ・痛みなど。鼻では、鼻づまり、鼻水、鼻水が喉に落ちる感じ、においがしない、くさいにおいがする、鼻血など。口の中や喉では、舌の痛み、味がおかしい、喉の痛み、声がれ、睡眠時の無呼吸など。首では、いろいろなしこり、甲状腺の病気など。そのほか風邪の諸症状や、顔の動きの悪さ・痛みなども診ています。

子どもと遊んでいます。10歳の息子と3歳の娘がいて、息子とはカードゲーム、娘には人形遊びなどに付き合われています。

診療を行う上で、心がけていることを教えてください

患者さんが本当に困っていることを聞き出し、解決することです。例えば、喉の調子が変わると来院した方が、内心では喉のガンを心配している場合、「大丈夫です」と伝えただけでは納得できないかもしれません。「ガンが心配」ということを聞き出し、その心配はないことを伝え安心してもらえるような診療を心がけています。

最後に、市民の皆さんへ一言お願いします

皆様のおかげで開院して無事1年が経過しました。月曜は午後のみ、金曜は午前のみ、火水木は午前・午後と少し不規則で申し訳ありませんが、これからもよろしく願います。

(市地方創生課)